

# グリーン購入 まめ知識

vol.3 いまさら聞けない環境略字  
EMS (Environmental Management System)

EMSは「Environmental Management System」の略字で、日本語では「環境マネジメントシステム」といいます。EMSは簡単に言うと「環境に配慮するための会社の社内規則」になります。すべてのEMSを策定している会社は「環境に配慮している会社」といって呼ばれます。KES認証取得やISO14001認証取得という言葉は耳にしたことがある方は、これらの認証はEMSをつくって作っている会社さんに与えられるものかと思ってしまうかもしれません。このEMSを作っている会社は具体的に何をやっているのか？一般的には環境をよくするために目標を掲げて、その目標を達成するために、環境に配慮できるようなやり方を環境に配慮できるように変えたり、また環境法を確実に守るためのルールを持つていたりするわけです。グリーン購入原則には「環境に取り組み企業から購入する」というのがあり、その企業がEMSを持っているかどうかを「1の判断基準」にしてみてくださいませぬ。(NPO法人京都GPN事務局 堀 孝弘)

環境にいいモノ 作る人・売る人・買う人、集まれ！



# 京都GPN-news vol.3

京都グリーン購入ネットワークニュース

## CONTENTS

- グリーン入札の波がやってくる ..... P.1
- お知らせ/報告&レポート ..... P.2
- 会員紹介/役員紹介/京都GPN3つの目的 ..... P.3
- グリーン購入まめ知識/会員一覧/環境ラベル図鑑 ..... P.4

## TOPICS



# グリーン入札の波がやってくる

## 1 グリーン購入は誰でもできる

個人・事業者・行政、どのような立場であれ、日々必ず「モノ」を購入して、暮らしたり事業を営んでいます。グリーン購入とは、必要なモノを購入するとき、価格・性能・安全性に、「環境」への配慮も加えて商品を選定・購入すること。グリーン購入は、個人・事業者・行政、いずれの立場でも、業態や事業規模を問わず、取り組むことができるだけでなく、最も取り組みやすい環境行動のひとつです。

## 3 グリーン購入への社会の要求はますます強くなる

大手企業の中には、製品や資材の購入（調達）にあたって、対象となる製品・資材の環境特性だけでなく、納入企業の環境の取り組みや、製品開発企業の資材調達の方針まで評価し、入札条件に採り入れる「グリーン入札」を採用しているところがあります。評価にあたっては、ISO14001やKESなどの環境マネジメントシステムの取得は重要な勘案ポイントとなりますが、今後はグリーン購入をはじめとした実践（パフォーマンス）への注目が高くなることでしよう。

## 2 グリーン購入が義務になった（公的機関）

グリーン購入の普及に拍車をかけたのが2000年5月に制定された「グリーン購入法」。この法律では、グリーン購入に率先して取り組むことを国の公的機関に義務づけ、地方公共団体にも努力義務を課しました。これ以降、製品開発における環境配慮を推し進めました。文具・事務用品をはじめ、様々な分野の製品カタログを見ても「グリーン購入法適合商品」という文字が目につくようになりました。

## 4 自治体もグリーン入札を検討している

自治体の中にも、数年以内に「グリーン入札」を採用しようとする準備中のあるところがあります。ある県の場合、入札業者の環境の取り組みを調べ、グリーン入札の具体的な条件の研究を始めていますが、その中に、「地域のグリーン購入ネットワークへの加入」についても尋ねています。

(文/京都GPN事務局 堀 孝弘)



さあ、次は私たちの地元の自治体...? グリーン入札の波は、すぐそばまで来ています。

## 京都グリーン購入ネットワーク 会員一覧 (2005年9月現在 合計104)

<b>■企業 (小計69)</b> 株式会社アルアイ (株) アイテック (株) アヴェニール 旭リスター (株) 浅見精工 (株) (株) アトミックパイオ アド・プロヴィジョン (株) 石崎産業株式会社 (株) イセスター 伊藤文祥堂 イーライフ株式会社 (株) ウィンスタ (株) 上田屋 株式会社オー・エヌ・イー (有) 太田商店 株式会社大塚商店 株式会社オムロン (株) オリオン (株) (株) 川島織物 川原 (株) 環境技研株式会社 株式会社規文堂 京つけもの西利	京都機械工具 (株) 京都ゼロックス (株) 京都放送 (株) 京都ホテル 京都リコー (株) 協和電線産業 (株) 近畿オービス (株) 旭興産業 (株) (有) ケイ・エイ・ケイ アソシエイツ (株) KDS (株) グラフィック 株式会社国興 コクヨ近畿販売 (株) (有) コンパス 川島便器株式会社 坂本五家 (株) ジーエス・アパコポレーション (株) 島津製作所 (株) 正栄堂 (有) ヴォーレム研究所 須河車体株式会社 セイコー事務機 (株) 星和電機株式会社 大光印刷株式会社	大日本スクリーン製造 (株) (有) 礼書房 (株) 田中光工務店 (株) 中央精器 (株) 仲文堂 西村新商店 日本新薬 (株) 日本紙工 (株) 日本写真印刷 (株) (株) 花久 (株) 光工業 (株) ひのでエコライフ研究所 プレマ (株) 平安リネン工業 (株) ホームケルン (株) 堀場製作所 (株) 松田洋紙店 (株) 村田製作所 学校法人京都精華大学 コープ・イン・京都 (特非) コンシューマーズ京都 (特非) 日本エコベース協会 京エコロジーセンター 京のアジェンダ21フォーラム (社) 京都工業会	<b>■自治体 (小計9)</b> 京都商工会議所 京都商店連盟 京都府商工連合会 京都府生活協同組合連合会 京都府中小企業団体中央会 大学生協京都事業連合会	<b>■個人 8名</b> 京都大学大学院経済学研究科 教授 堀田和弘 環境事務所 税理士・社会保険 労務士 園場 淳 環境市民会員 久保浩 京都・雨水の会代表/環境市民 理事 上田 正幸 堀田 美智子 NPO 法人京都消費生活有資格 者の会、他 平井 美枝 木村 智 森田 知都子
--	--	---	--	--

## 知って! 環境ラベル図鑑 vol.2 「間伐材マーク」

このマークは、そうした間伐材の必要性や有効性を広く認識していただくことを目的としています。  
**対象商品/サービス**  
間伐材や間伐材利用の重要性等をPRするものと、間伐材を用いた製品につけられています。マークの使用には、全国森林組合連合会が設置する間伐材マーク認定委員会の認定が必要です。  
**実施団体** 全国森林組合連合会 (http://www.zenmori.or.jp/kanbatsu/)



**お問合せ/入会申込み**  
 京都グリーン購入ネットワーク事務局 <http://www.k-gpn.org>  
 TEL) 075-241-4664 (FAX) 075-241-4664 [E-mail] [kgpn@dolphin.ocn.ne.jp](mailto:kgpn@dolphin.ocn.ne.jp)  
 〒604-0932 京都市中京区寺町通り二条下る真波ビル3階 特定非営利活動法人 環境市民 内

## 会員紹介

グリーン購入といっても、どこから手をつければいいのか? そんな疑問にお答えすべく、このコーナーでは京都GPNの会員を訪ねて、実際どのようにグリーン購入に取り組んでいるのかを聞き出していきたいと思ひます。

## vol.2 有限会社 紵 書房

専務取締役/高林 伸樹さん

今回は、大豆インクや風力エネルギーの使用など、常に日本における環境に配慮した印刷をリードしている高林伸樹さんに、そのきっかけやグリーン購入への思いなどを伺いました。

**誰かが使わないとグリーン商品は広がらない**  
 創業は1958年。お話を伺った高林伸樹さんご自身も設立された。高林伸樹さんは「もったいない」の心を持っていらっしゃいます。環境への関心は自然とあつたという。早くから再生紙は使っていたのだが、大豆インクを使うきっかけは、1993年、環境市民の松本生(環境市民代表/京都GPN副代表)から送られてきた1枚のファックスだった。そこには「アメリカで大豆インク」というインクがあり、環境に負荷が少ないと書かれていた。通常のインクには石油系溶剤が含まれており環境汚染が高いのだが、大豆インクは、大気汚染を減らすだけでなく、このインクは、廃棄時の生分解性が高い。脱墨が容易なためリサイクルしやすいとのメリットがある。要望を受けて高林さんはそのインクを扱っている社がないかを探したが、やっと探して当てることになった。当時、高林社で扱っていたインクは、さらに紙によっては印刷すると乾き難かったり、ベタベタしたりと苦味のある環境に不向きなもので、誰か

**日本に印刷業界初「グリーン電力証書システム」に参加**  
 として最近もう一つ、紵書房が初めて参加したのが「グリーンパワー(風力エネルギー)の使用だ。紵書房は日本の印刷業界ではじめてグリーン電力証書システムに参加した。(2002年)これは、毎月10キロワットアワワーの風力発電に対するコストを環境付加価値として、日本自然エネルギー株式会社に支払うことにより、自然エネルギーの普及を進めようという。紵書房では、株式会社グリーンパワーと提携し、写真印刷の2社にも呼びかけて同様に購入している。グリーンパワーのマークを多くの人に使用してもらうことによって、自然エネルギーの普及に貢献できるのではないかとお客様には機会があるたびマークの使用を薦めている。

**自らできることから始めて大きく動かすにつけていこう**  
 高林 伸樹さん  
 手に持っているのはグリーン電力証書と大豆インク

「グリーンパワー」への経費は寄付金とされ今は課税対象となっている。これではなかなか広がらない。しかし大きな動きにしたいこととするときに国や社会が変わるのを待つのではなく、「小さな企業でもできることから始めるのが大切ではないか」と高林さんは考えている。そのときに助言し合える仲間がいるというのはとても重要だ。その意味でグリーン購入ネットワークは大切ですね。グリーン購入を当たり前にしていただければいいなという思いです。

(注) NPO法人(環境市民)J.E.E.(日本環境保護国際交流会)NPO法人(気候ネットワーク)京のアジェンダ21、など

(聞き手/京都GPN事務局 有川真理子)

## お知らせ

### 設立1周年記念 京都環境フェスティバル 2005にグリーン購入ゾーンを企画出展します。

毎年年末に開催されております「京都環境フェスティバル」において2階のフロアに京都グリーン購入ネットワークが企画するグリーン購入ゾーンを設置します。当日は、グリーン商品の即売会や各種展示、ワークショップなどの企画を予定しております。詳しくは京都グリーン購入ネットワーク事務局までお問合せください。

日時: 2005年12月10日(土)、11日(日)  
 10:00~16:00  
 場所: 京都府総合見本市会館(ハルスプラザ) 京都市伏見区武田鳥羽殿5  
 主催: 京都府、京(きょう)と地球(アース)あすの共生府民会議、京都府地球温暖化防止活動推進センター、財団法人自治総合センター

## 報告&レポート

### 会員対象アンケート実施

京都グリーン購入ネットワークでは、9月に会員対象アンケートを行いました。これは、会員の皆さんがグリーン購入にどのような取り組み、どのような課題があるか、またどんなグリーン商品、サービスを扱っているのかを把握するために実施しました。今後はこの情報を集約し、ホームページでの会員紹介やエコ発注ソフト作成事業、京都府での環境ラベル創設に活用していく予定です。これにより、会員メリットを増やし、京都でのグリーン購入の輪を広げていきます。

### 第5回幹事会

日時: 2005年9月27日 10:00~12:00  
 場所: 府庁旧館 2階 2-M会議室  
 内容: 各分会、自治体対象グリーン購入セミナーの報告、京都府環境フェスティバルでのグリーン購入ゾーン企画内容、会員対象のアンケート活用方法などの検討。

### 自治体対象グリーン購入セミナー

調達方針や調達指針を持つ自治体からどのように取り組んでいるかについて、次に、京のアジェンダ21フォーラム・ア

ンKES認証事業部とココヨ近畿販売(株)から、グリーン購入に実際に取り組むためのポイントを紹介してもらいました。また、公共事業などで府内産木材の使用をすすめる京都府産木材認証制度について京都府地球温暖化防止活動推進センターから紹介しました。3回合計で38名の方が参加され、自治体のグリーン購入への関心を高める機会となりました。

- 第1回 8月26日(金) 各回  
 場所: 福知山市  
 テーマ: 環境に配慮した物品調達推進方針
- 第2回 9月2日(金)  
 場所: 亀岡市  
 テーマ: グリーン調達の取組について
- 第3回 9月7日(水)  
 場所: 宇治市  
 テーマ: グリーン調達指針に基づくグリーン調達について

## 広報コミュニケーション部会

【第1回広報コミュニケーション部会】  
 日時: 2005年7月14日(木) 14:00~15:10  
 場所: 京都府庁旧館 2階 2-I会議室  
 内容: 会報誌の内容検討

## 普及啓発部会

【第1回 普及啓発部会】  
 日時: 2005年7月15日(金) 10:30~11:30  
 場所: 京都府庁旧館 2階 2-C会議室  
 内容: 自治体対象グリーン購入セミナーの企画検討、京都府環境フェスティバル

## 合同部会

【第2回広報コミュニケーション、普及啓発合同部会】  
 日時: 2005年9月12日(月) 15:00~17:00  
 場所: 京都市寺町第一会議室  
 内容: 京都府環境フェスティバル、会報誌の内容検討、自治体対象グリーン購入セミナー実施

## 部会参加者も大募集!

活動は部会を中心にする予定です。部会はどなたでもご参加いただけますので、ぜひお気軽に事務局までお問合せください。

## 各分会のご紹介

下記のような部会の活動を通して、会員自らが主体的に活動を行っています。ぜひご参加下さい!

### 広報コミュニケーション

パンフレットやホームページなど様々な媒体を通じた広報活動を行います。

### 普及・啓発

購買担当者や一般消費者などへ、グリーン購入の理解を深めるためのセミナーの企画、実施を行います。

### 研究会

環境ラベルについての研究や京都ならではの伝統産業も視野に入れた「京都独自のグリーン購入ガイドライン」の策定などを行います。

## 役員紹介

雨水タンクもグリーン購入ではないでしょうか。雨水は省エネにつながりますからね。

NPO法人 京都・雨水の会 代表理事  
 幹事 上田 正幸氏

雨水活用は温暖化やヒートアイランドにも有効です。

- ① 溜めて使えば省エネルギーで、水資源の有効利用です。また、洪水軽減にもなります。
- ② 下水道に排水するのではなく、地下浸透により下水道でのエネルギー負荷を減らします。
- ③ 雨の蒸発・蒸散で都市を冷やします。
- ④ 雨を通じた環境教育で、環境負荷の少ない社会を創ります。

## 京都GPN3つの目的

- 1 環境に優しい商品・サービスを京都府内に普及し、グリーン市場を拡大します。
- 2 グリーン購入に取り組む消費者・事業者・行政の情報交換と活動促進の場とする。
- 3 京都府内で環境に優しい商品・サービスを提供している事業者の活動を促進する。